

環境保全型農業直接支払交付金：対象取組

化学肥料、化学合成農薬を都道府県の慣行レベルから5割以上低減する取組と組合わせて行う以下の対象取組に対して支援を行います。

	対象取組	支援単価※ (国と地方の合計)
全国 共通	カバークロップ（緑肥）の作付け	6,000円/10a
	堆肥の施用	4,400円/10a
	長期中干し 【対象作物：水稲】	800円/10a
	秋耕 【対象作物：水稲】	800円/10a
	不耕起播種 【対象作物：麦、大豆】	3,000円/10a
地域 特認	有機農業 《加算》 土壌診断+堆肥の施用 or カバークロップ等	12,000円/10a 《2,000円/10a》
	IPM・畦畔除草・秋耕 【対象作物：水稲】	4,000円/10a

※全国を取組実施額が国の予算額を上回った場合、上記支援単価は減額調整される可能性があります。



カバークロップの作付け



堆肥の施用



IPM・畦畔除草・秋耕

5割低減の取組の前後のいずれかに緑肥の作付けや堆肥を施用する取組
※支援の対象となるためには堆肥のC/N比が10以上等の要件があります。

5割低減の取組と、IPMの実践、水稲作付期間中4回以上の畦畔除草、5cm程度の秋耕を組み合わせる取組

農地に還元されたカバークロップ（緑肥）や堆肥の一部が土壌有機炭素となり、土壌中に貯留されるなど、地球温暖化防止に貢献します。



有機農業

〔化学肥料・化学合成農薬を使用しない取組〕



長期中干し

〔5割低減の取組と14日以上の中干しと10aあたり1本以上の溝切りを実施〕

化学合成農薬を使用しない又は農薬の低減とリビングマルチ栽培を組み合わせることで生物の個体数が増加することが報告されています。